

「岸和田市公共交通検討委員会」ニュース

<NO.2> 発行 H23.1

★ 第2回検討委員会開催 ★

岸和田市では、市内全域を対象に『将来にわたって、みんなが使える公共交通サービスを実現するにはどうすればよいか?』を考えるため、「岸和田市公共交通検討委員会」を組織し、検討をおこなっています。

平成22年12月21日には第2回検討委員会が開催され、第1回検討委員会（平成22年10月5日開催）における公共交通の現状・課題についての議論を踏まえ、各委員より挙げられた意見・改善案、地域からの要望、他市町村での先進事例などの資料を基に、課題の再整理、および、課題解決のための具体的方策を検討する上での基本的な方向性などについて議論されました。

本年度内には第3回目の検討委員会開催を予定しています。

第3回検討委員会では、「課題解決のための具体的な改善案とその実現性など」について議論する予定です。

日時：平成22年12月21日（火）14:00～16:00

場所：岸和田市立中央地区公民館 3階講座室4



委員会開催風景



委員会開催風景

委員出席状況

構成委員総数 10名 出席委員数 6名

協議のポイント

- 各委員から挙げられた主な意見・課題
 - ・バスサービスの不公平感、需給のアンバランス
 - ・ネットワークと財源の問題
 - ・自動車利用率が高く、公共交通利用率が低い
- 課題解決のための基本的な方向性
 - ・公共交通施策と福祉的施策との役割分担
 - ・バス利用の優位性（インセンティブ）確保
 - ・公共交通利用PRを含めた地域との協働

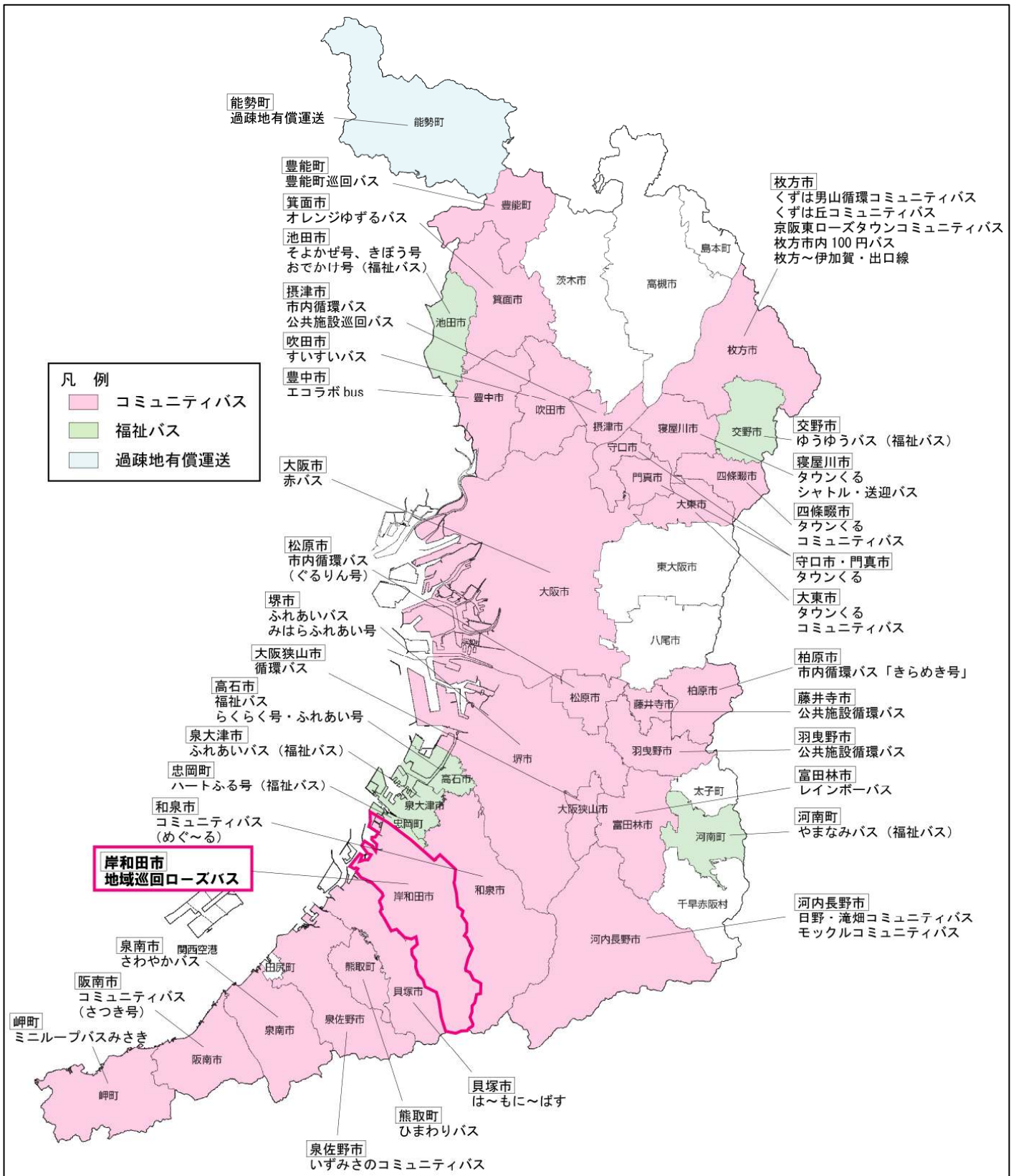
岸和田市公共交通検討委員会ニュース 2011年1月発行

【編集・発行】岸和田市 まちづくり推進部 都市計画課

TEL 072-423-2121（代表） FAX 072-423-3347

「データのページ」 公共交通の事例に関するデータを紹介します

【大阪府下における主なコミュニティバス等事例一覧図】



- ※・コミュニティバス・・・自治体または地域共同体が住民の移動手段を確保するために、主体的に運行を確保するバスのこと。
既存のバス路線ではカバーしきれない交通空白地域の補完などの目的で運行
- ・福祉バス・・・高年齢者、身体障害者、妊婦、乳幼児を連れた方など、一般的な公共交通を利用するのが困難な方を対象に、福祉的目的で地方公共団体が運行するバス
 - ・過疎地福祉有償運送・・・過疎地域等において、NPO法人などが、実費程度の運賃を収受して自家用自動車を使用して行う輸送サービス。